

2021年京都大学地球物理学教室同窓会(京大知球会)報告

2021年(令和3年)2月20日

ZOOMによるオンライン開催

[参加者 講演会:91名, 総会:51名, 懇親会は開催せず]

I. 公開講演会 2021年2月20日(土)

12:30 - 16:35

司会: 諏訪 浩・田口 聡

12:30 開会挨拶*

今脇資郎(会長)

【瑞宝中綬章受章記念講演】

12:35-13:15 巨大地震による大災害を軽減するための強震動の研究

入倉孝次郎(愛知工業大学客員教授, もと京都大学防災研究所長)

【退職記念講演】

13:15-13:55 うみとの出会い

秋友和典(京都大学 地球物理学教室 海洋物理学研究室 教授)

13:55-14:05 休憩

14:05-14:45 思えばいろいろな事に手を出したものだ

石川裕彦(京都大学 防災研究所 暴風雨・気象環境研究分野 教授)

14:45-15:25 風が吹けば山が崩れる?

松浦純生(京都大学 防災研究所 傾斜地保全研究分野 教授)

15:25-15:35 休憩

【2020年度修士論文賞受賞者講演】

15:35-15:55 GNSS データを用いた短期的スロースリップイベントの検出手法の開発と
南海沈み込み帯への適用

岡田悠太郎(測地学及び地殻変動論分科)

15:55-16:15 海洋表層混合層中の乱流による粒子の凝集・分裂と
鉛直物質輸送に関する数値実験

西野圭佑(海洋物理学分科)

16:15-16:35 新しい木星磁気圏磁場及びカレントシートモデルの構築と
それらの長期変動に関する研究

桃木尚哉(太陽惑星系電磁気学分科)

※公開講演会の開催挨拶（会長 今脇資郎）：

地球物理学教室同窓会（略称：京大知球会）の講演会にご参加いただきありがとうございます。京大知球会は2003年に設立されました。毎年春に総会・講演会を開催しています。今回が19回目です。新型コロナウイルス対策のために、今回初めてオンラインで開催することになりました。80名を超える方々から参加申込みがあり、例年の対面での講演会以上の参加者をお迎えしています。この講演会は、知球会の会員だけでなく、一般の方にも公開されていて、今回も10名ほどの方からお申込みをいただきました。

講演は、知球会会員で褒章や叙勲を受章されたり学会等で大きな賞を受賞された方や、その春に退職される教室関係の先生方、そして地球物理学関係の大学院の修士論文賞を受賞された方をお願いしています。

今回は、一昨年叙勲を受けられた入倉先生、この3月に退職される秋友先生・石川先生・松浦先生と、修士論文賞を受賞された岡田さん・西野さん・桃木さんの7人の方々にご講演をお願いします。ほぼ研究を終えられた大家の先生方と、研究を始められたばかりの新進気鋭の方々から、多岐にわたるテーマについて話が聞けそうで、大変楽しみです。

さて、最後にオンライン開催について、少し気になっていることを一言。オンライン集会は、参加者がどこにいるかを感じさせないという大きなメリットがありますが、当然デメリットもあります。先日、前・京大総長の山極寿一先生が、朝日新聞で警鐘を鳴らされています。先生が仰るには「人間には社交の場が必要である。集まってリズムを共有することが大切。祭り、スポーツ、コンサートなどがその例。身体の動きを他者に同調させ、リズムに乗りながら全体を調和させる音楽的なコミュニケーションが大切。それが人間の脳を大きくした（言葉が登場する前に）。ゴリラなどとの違いはそこにある。」＜文化の力奪うオンライン；2021年2月11日付＞ 今日はこのことを心の片隅に置きながら、ご講演を拝聴したいと思います。

II. 知球会総会 16:45-17:30

司会：田口 聡・諏訪 浩

総会では、退職記念品と修士論文賞副賞品の贈呈につづき、地球物理学教室の近況報告、同窓会の活動報告ならびに議事が行われました。例年であれば、総会のあとは懇親会ですが、今回は取りやめました。

開会挨拶

今脇資郎

退職記念品贈呈・修士論文賞授賞式

今脇資郎

教室の近況について

田口 聡（教室主任）

報告

総務・名簿
その他

諏訪 浩

議事

会計報告
会計監査報告
次期役員を選任
その他

田口 聡
田中良和
今脇資郎

その他

総会の概要

1. 開会挨拶

今脇資郎

京大知球会の総会にご出席いただきありがとうございます。会長を務めています今脇資郎です。1968年の卒業で出身は海洋物理学講座（第2講座）です。

先ほどの初めてのオンライン講演会はいかがだったでしょうか？ 若干のトラブルがありました。最初にしては上手くいったのではないかと思います。講演していただいた方々、ありがとうございました。また講演会・総会の準備と進行では、総務の諏訪さん、総務補佐幹事の吉川（裕）さん、会計の田口さんに、特にお世話になりました。ありがとうございました。

京大知球会は地球物理学教室の発展と会員相互の親睦を図ることを目的として2003年に発足しました。これで18年が経ったこととなります。本家の地球物理学教室は去年（2020年）創立百周年を迎えました。1920年（大正9年）5月に、それまで物理学科にあった「地球物理学一般講座」が分離・独立しました。これが地球物理学教室の創立とされています。実は、教室では、この3月に創立百周年記念の祝賀会を計画されていましたが、この新型コロナウイルス対策のために、残念ながら延期となりました。同窓会としても側面からできる限りの協力をしたいと思っておりますが、1年ほど繰り延べになりました。他に百周年を記念してこんなことをしてはどうかというご提案がありましたら、ぜひお聞かせ下さい。

今日の総会では活発なご議論をお願いします。

2. 教室の近況について

田口 聡

固体地球物理学講座において2020年4月1日付けで、ニュージーランドのGNS Scienceから金子善宏氏が准教授に着任した。また、2021年1月1日付けで大気圏物理学講座

と固体地球物理学講座において、それぞれ石岡圭一氏、宮崎真一氏が教授に昇任した。協力講座については、地球熱学研究施設において2020年10月1日付けで富山大学から楠本成寿氏が教授に着任した。防災研究所において2020年4月1日付けで吉村令慧氏と榎本剛氏が、5月1日付けで王功輝氏が、それぞれ教授に昇任した。今年度は、大学院修士課程入学試験をオンラインで実施した。また、京大オープンキャンパス時の地物のイベントやウェゲナー祭もオンラインでの実施となった。教室では最近、1・2回生に地球物理学の魅力をうまく伝えられており、2回生の終わりの系1次登録で定員を超える希望者が集まるが続いている。大学院の博士後期課程の定員充足率が上昇するまでには至っていないが、先日の博士後期課程の試験においては受験者数が前年度から大きく増えており、今後は博士後期課程の定員充足率の上昇も期待できる。次年度から、学部の1回生に加えて2回生もCAP制（履修科目数の制限）のもとで勉学をすることになる。2回生に一層魅力ある講義を提供していく必要があることから、地球物理学教室の教員で議論を重ね、これまで、「地球物理学のための数学」と「地球連続体力学」という科目で提供してきた内容を見直し、「地球連続体力学」（同じ科目名のもとで内容を少し変更）と「地球連続体力学からの展開」という科目を次年度から提供する。

3. 報告

(1) 総務・名簿

諏訪 浩

1) 役員会： 2020年11月8日（日）に役員会をオンラインで開催して今回の講演会・総会・懇親会の計画を相談し、準備を開始した。詳細は時間の関係で省略するが、後日総会報告をHPに掲載するので、その中に収録する（本総会報告の末尾に収録）。

2) 会員名簿： 名簿原簿は、データを受け取り次第随時更新している。開催案内紙面末尾の出欠通知欄に名簿データ記入欄を設けている。また、年度末に学部卒業生と修士課程修了生に対し、会長から、連絡先データ登録依頼メールを送信している。これに応じてデータ提供に至るケースは必ずしも多くないが、毎年数件の新規登録が実現している。なお、会員名簿冊子は隔年印刷し総会出席者に配布しているが、今回はオンライン開催のため、印刷・配布は行わない。

3) 会員訃報報告： 前回総会以降、以下の5名（敬称略）の会員がお亡くなりになったことを報告し、謹んでご冥福をお祈りした。

山元龍三郎，2020年4月7日逝去，第3講座（気象），昭和26年（1951年）学部卒業，
本同窓会初代会長（2003年4月～2007年3月）

山本淳之，2020年7月6日逝去，第2講座（海洋），昭和28年（1953）学部卒業

平野敏行，2020年8月19日逝去，第2講座（海洋），昭和22年（1947）学部卒業

前田 坦，2020年8月26日逝去，第5講座（地球電磁気），昭和25年（1950）学部卒業

佐橋 謙, 2021年1月17日逝去, 第3講座 (気象), 昭和29年 (1954) 学部卒業

なお, 新たに会員の訃報に接せられた場合には, 知球会の総務

< chikyukai@kugi.kyoto-u.ac.jp > に宛て, 情報を速やかにお寄せいただきたい。
連絡が通夜, 葬儀の前であれば, 会員メーリングリストに宛てて訃報通知を送信すること
にしている。

(2) その他 とくになし

4. 議事

(1) 会計報告 (2020年1月1日~12月31日)

田口 聡

(次項の会計監査報告の後, 拍手により承認)

収入の部:

2019年より繰越:	375,486	
同窓会入会金 (@3000x0):	0	
懇親会費 (@5000x33):	165,000	
寄付 (3000+2000)	5,000	
口座利子	2	(4/1に1, 10/1に1)
小計	545,488	(前年は537,771)

支出の部:

退職者記念品 (@3500x4)	14,000	
修士論文賞副賞品 (@6086x3)	18,258	
懇親会飲食代	122,450	
同窓会準備アルバイト (@5000x2)	10,000	
振込代	660	
小計	165,368	
次年度繰越	380,120	(前年は375,486)

(2) 会計監査報告

田中良和

2021年2月6日, 京都大学理学研究科1号館において京都大学地球物理学教室同窓会の会計監査(期間2020年1月1日から12月31日まで)を行った。会計決算は, 諸帳簿と証拠書類等を対照精査したところ, いずれも適正に処理されていることを認めたので, 報告する。

以上の報告に対し, 一会員から, 「2020年には入会費の納入は無かった, とのことだが, これは問題だと思う。このままだと運営に支障が生じるのではないか」との発言が

あった。これに対し、総務がおおむね、「確かに問題だ。毎年送付している同窓会開催案内において、未納者は入会費を納入してほしい旨、振り込み先を付して記している。会員が自主的に納入することを期待している。同窓会を対面で開催する時は受付を設けるので、そこで入会費の納入を受けることも少なくない。今回のようにリモート開催だと、受付での入会費支払いは生じない。対面で開催できるようになれば、問題は多少改善すると期待している」のように答えた。

(3) 次期役員承認

今脇資郎

今脇会長より「第10期(2021年春～2023年春)の役員として、副会長を岩崎好規、会計を田口 聡、総務を諏訪 浩、監査を田中良和の各氏にお願いしたい」との提案があり、異議なく承認された。なお、会長については去年2月の総会で現会長が再任されており、幹事については去年11月の役員会で、斎藤昭則、重 尚一、谷 伸、田部井 隆雄、徳田 八郎衛、林 泰一、平原和朗、福田洋一(会計補佐)、吉川賢一、吉川 裕(総務補佐)の各氏が承認されているとの報告があった。

(4) その他 とくになし

5. その他 とくになし

ZOOM 集合写真保存

総会終了後、その場で集合写真を撮影

追記： 当日保存のZOOM集合写真などを同窓会HPにアップ済(会員限定)。よろしければご覧下さい。アクセスにはユーザー名とパスワードが必要です。お忘れの場合は総務<chikyukai@kugi.kyoto-u.ac.jp>にお尋ね下さい。その節は、お名前とフリガナ、地球物理学教室関係の学部卒業年あるいは修士課程入学年をお知らせ下さい。名簿原簿で対照・確認のうえデータをお伝えします。

——以下は、2020年11月開催役員会の報告——

日時：2020年11月8日(日)10時～12時

場所：ZOOMによるウェブ会議

出席者：今脇資郎、入倉 孝次郎、荒木 徹、福田洋一、田口 聡、吉川 裕、吉川賢一、田中良和、林 泰一、田部井 隆雄、徳田 八郎衛、谷 伸、諏訪 浩

議題：

＜報告：地球物理学教室百周年記念講演会の延期＞

田口 聡教室主任より以下の報告があった。教室の創立百周年記念講演会を今年度末に開催する予定であったが、新型コロナ禍の中で予定どおり開催することが難しくなった。教室会議で検討した結果、開催を延期することとした。来年度の同じ時期に対面形式での開催を目指すこととした。

1. 「講演会・総会・懇親会」の開催について

(a) 開催形式

対面で開催，あるいは対面とオンラインを併用するなど，開催方法について意見交換した後，次のような方法で開催することとした。

ZOOM によるオンライン開催とする。講演と修士論文賞授賞式などは会場で行うが，参加者は会場ではなく，各自オンラインで参加する。ZOOM のホストは吉川裕氏（総務補佐幹事）が務める。参加を呼び掛ける対象者は，例年どおり知球会会員ならびに情報に接して参加を希望する学内者や一般市民とする。例年どおり案内の際に出欠通知を求めるのに加え，今回は事前にウェブでの参加登録を求める。参加登録者には後日，ZOOM アクセス情報をメールで伝える。聴衆無しでは話がしにくい方もいらっしゃるのでは，ほかの講演者や世話をする役員など 10 名程度が会場に対面形式で話を聴くようにすることとした。

(b) 日程

教室の修士論文発表会の後の土曜日として，2021 年 2 月 20 日（土）午後で開催することとした（今年度の発表会は 2 月 8・9 日）。修士論文賞が決まり，副賞品の準備に要する時間などを考慮する必要があることと，2 月 13 日（土）には学事（大学院進学編入学者のためのガイダンス）が予定される可能性があることなどを考慮した。

(c) 講演者

例年，活躍されている現職，本年度の退職者，褒章・叙勲等の受章者，学会賞等の受賞者，修士論文賞の受賞者などをお願いしている。今回は，昨年度，叙勲を受章された，入倉孝次郎京大名誉教授と桜井邦雄氏（元気象庁長官；京都在住）が先ず候補となる。本年度の退職者は，教室の秋友和典教授（海洋物理学講座）と，防災研の石川裕彦教授（気象・水象災害研究部門：暴風雨・気象環境研究分野）と松浦純生教授（地盤災害研究部門：傾斜地保全研究分野）である。

講演者は上記の 5 氏と修士論文賞受賞者（2～3 名）とする。最大 8 名となる。昨年度は 7 名で，今年度は 1 名多いが，プログラムの時間配分を調整して対応することとした。プログラムは総務が案を用意し，会長ほか主要役員の確認・修正を経て決することとした。【役員会終了後の打合せで，講演依頼は，入倉，秋友両氏へは今脇が，残り

の三氏へは諏訪が行うこととした。】

(d) 総会

議題として、会計報告、監査報告、次期役員承認などを上げることにした。特段の意見交換はなかった。

(e) 懇親会

様々な観点から意見交換を行った結果、懇親会は行わないことにした。

<補足>：会員の参加者は講演会と総会に参加するだけで 12 時半から 17 時半頃まで ZOOM に縛られる。世話をする役員にはさらに 1 時間程度の拘束時間が加わる。参加者はこの間、同じ屋内にいる家族に迷惑な状態を続けることになる。そのうえ懇親会もというのは無理がある、との意見もあった。

2. 次の会長の推薦について

【現会長の任期は 2023 年春まで⇒2022 年春の総会で次の会長を選任する⇒2021 年秋の役員会で推薦する】というスケジュールの中で、役員会に次期会長選考委員会を設置することとした。メンバーは会長・副会長・総務・会計・前会長とし、オブザーバーとして前々会長が加わる。1 年後の役員会で推薦してもらうことにした。ちなみに、現在の会長までは、5 講座を一巡するという方針で人選してきた。しかし次の会長は講座にこだわらないで決めるのが望ましいとの認識でおおむね一致した。

<補足>：昔と異なり、若い人たちは、どの講座に属しているかとか、さらには地球物理学教室あるいはその関連協力講座に属しているかなどの意識は低い、あるいは無い。大学院入試の募集にあたり、地球物理学専攻ではなく、地球惑星科学専攻という看板を表に掲げるようになって久しい、との指摘があった。

3. 次期役員について

現役員のリスト（別紙）を確認の上、会長より、次期（2021 年春～2023 年春）の役員については、現役員全員に留任をお願いしたいとの提案があり、出席の全役員の承諾を得た。当日欠席の役員については、後日会長が本人の承諾を得ることとした。【幹事はこの役員会で承認された。その他の（会長以外の）役員は次の総会で承認を受ける。】

<補足>：役員に若い世代の方を登用する仕掛けが必要だ、会員からの推薦を求めるなども検討課題だ、などの発言があり、上記の次期会長選考委員会で検討することとした。

4. その他

(a) 「講演会・総会・懇親会」の開催案内

第 1 議題の (a) 項に記したとおり、開催案内は、学内者や一般市民への案内も含めて例年どおり行うこととする。開催案内の文案は総務が 12 月中旬までに用意する。

(b) 退職記念講演者への記念品と修士論文賞の副賞

去年と同じ品物（退職者へはタンブラー，修士論文賞の副賞はクスノキ時計（京大オリジナルの小型置時計）を昨年同様吉川裕氏が手配して準備する。

(c) 会員の動向に関する情報交換

他界者など会員動向の情報は部分的にしか集約できていないと思われる。情報に気付き次第，総務へ連絡してほしい旨，役員全員への依頼があった。

(d) 知球会連絡先の変更

今後は，京大同窓会と知球会では，知球会の連絡先を以下のように記載・表示することとした。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学研究科 地球惑星科学専攻 地球物理学教室気付

地球物理学教室同窓会 “京大知球会”

TEL: 075-753-3910

E-mail : chikyukai*kugi.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）

<経緯>：知球会の事務局（連絡先）は，2003年の同窓会発足時には教室事務室に置くことができなかった。それで，岩崎好規副会長の会社（(財)地域地盤環境研究所（大阪市））に置くこととし，これまでその状態を続けてきた。しかし今年になって，京大同窓会から（知球会のメールアドレスの変更に伴い）HPに記載する連絡先の表記について確認の問合せが寄せられた。岩崎副会長も変更を強く希望されたため，これを切っ掛けに連絡先を実態に合わせて変更することとした。教室主任の田口氏から教室事務主任に説明して相談に乗ってもらった結果，今後は連絡先を上記のようにしてよい旨，了承を得ることができた。

(e) 地球物理学教室創立百周年記念事業（講演会以外）

今協会長から，講演会・祝賀会の他に事業はできないか，例えば地球物理学教室百年の歴史をまとめたような冊子の刊行はできないか，との発言があった。考慮すべきこととして，2009年から2011年にかけて，京阪奈学園都市にある国際高等研究所で「京大地球物理学研究の百年」と題する研究会が開催され，そこでの講演や関連する寄稿を集成して，都合438頁の同名の冊子（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）が刊行されていることがある。ただし，教室の百年の歴史が判り易い読み物としてまとめられているかという点，そうでもない。検討できないだろうか，との意見であった。しかし，別の観点から作る必要があるとのコメントの他には，これを支持する意見はなく，具体的な進展には至らなかった。

(f) ホームページの充実

○知球会創立期の事情に関する記録を，来年2月の同窓会開催時期までにHPに掲載

することとした。

＜経緯＞：この件については、前々会長の荒木徹氏から総務の諏訪浩氏にとりまとめが依頼されていた。それで、岩崎好規、竹本修三の両氏らから寄せられた情報と地物教室年報などに掲載された記事などから得られる情報をとりまとめた。この“地球物理学教室同窓会創設の経緯(案)”と題する紙面を、2019年11月開催の役員会に提出した。検討の結果、内容は概ねそれでよいが、この案のままでは一般の読み手に不親切なので、前書きを付けることになり、その作業が残っていた。

○ホームページ画面の刷新については、特段の意見交換はなかった。

○寄稿欄の充実に関して、三雲健氏や、川崎一朗・岡田篤正・諏訪浩氏ら、最近では石原和弘氏からの、寄稿の受付や学術誌等へ掲載された読み物風記事の転載などを行っている。地物出身者・関係者らの手による身近な話題や記事が“報告・寄稿”欄へどしどし掲載されるのが望ましい、との発言があった。

(g) 名簿の更新

会員名簿の原簿は、新たな情報を受けるときに更新している。名簿の印刷冊子の会員への配布は、最近では隔年で行うことにしている。今年度は配布年にあたるが、総会がオンライン開催なので、名簿の印刷冊子は用意しない。総会が対面で開催できるようになれば、用意して配布することとする。

関東支部代表の吉川賢一氏から、支部のメーリングリストの更新のため、2月の時点でよいので、他界者のリストなど、名簿更新データを定期的に提供するよう依頼があった。総務はこれを了承した。

(h) 同窓会の活性化

時間の制約もあり、意見交換はなかった。

(i) 京大総務部からの依頼（京都大学創立125周年の寄付募集活動）への対応

京大は2022年6月に創立125周年を迎える。総務部渉外課の辻井氏から、これを記念して計画されている寄付募集活動への協力依頼があった。知球会の対応としては、地球物理学教室では2021年3月に創立百周年記念講演会を予定しているので、総務部で用意される京大創立125周年寄付依頼の冊子を、その会場で参加者に配るなどして協力することは可能である旨、返答した。

この件については、会長ほか役員会の主要メンバーで検討の結果、知球会としては、メーリングリスト使用に関する条件もあるので、この寄付依頼を会長からメーリングリストを用いて会員に依頼することは難しい。しかし、適当な機会に冊子を配布することは可能と考えた。

＜補足＞：教室の創立百周年記念講演会は延期されることになったので、今後、辻井氏から関連アクションを受けた時点で対応を検討することになる。

(j) その他

とくに発言はなかった。

報告

1. 知球会関東支部総会・講演会

関東支部代表の吉川氏から支部総会・講演会を、2020年11月14日(土)14:30-17:00に、ZOOMによるオンライン形式で開催する予定であるとの報告があった。このところ支部総会への参加者が減る傾向にあったが、今回はオンラインになったことも功を奏して参加登録数は40名ほどと多くなっている。懇親会も用意している。第1部(講座別)と第2部(世代別)からなり、それぞれいくつかのグループに分かれて交流できるように工夫して実施する。

2. 京都大学同窓会

知球会会長が京都大学応援大使に任命された。京大ホームカミングディ(11月7日)が行われた。時間の制約もあり、とくに報告はなかった。

3. その他

時間の制約もあり、とくに報告はなかった。

————— 以上は、2020年11月開催の役員会の報告 —————